

学習指導要領		練馬工業高校 学力スタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>	<p><b>1. 正負の数</b></p> <p>正負の数を数直線上で表すことができる。                      正負の数の加法ができる。                      正負の数の減法ができる。                      加法と減法の混じった計算ができる。                      正負の数の乗法ができる。                      同じ数の積ができる。                      正負の数の除法ができる。                      四則の混じった計算ができる。</p> <p><b>2. 文字式</b></p> <p>文字式を表すことができる。                      代入及び式の値が求められる。                      文字式の計算ができる。                      1次式の加法ができる。                      1次式の減法ができる。</p> <p><b>3. 文字式を用いた計算</b></p> <p>○文字式のきまりを理解して、正しく式を書き表すことができる                      ○次数、係数、定数項、単項式、多項式の意味を理解している。                      ○文字式の種類項をまとめ、計算ができる。                      ○整式を降べきの順に並び替えることができる。                      ○代入ができる。                      ○文章を読んで文字式で表すことができる。                      ○かっこをはずすことができる。                      ○2重かっこをはずすことができる。                      ○整式の加法・減法できる。                      ○係数を含む整式の加法・減法ができる。</p> <p><b>4. 式の展開・因数分解</b></p> <p>○指数法則を理解し、それを利用して計算ができる。                      ○分配法則を理解し、それを利用して計算ができる。</p>	

学習指導要領	練馬工業高校 学力スタンダード
<p>ア 数と集合                      (ア) 実数                      数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 式                      (イ) 一次不等式                      不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>	<p>○整式の乗法の計算方法わかる。                      ○乗法公式を理解し、それを利用して展開ができる。                      ○三乗の展開公式が理解できる。                      ○因数分解の公式がわかり、それらを利用して因数分解ができる。</p> <p><b>5. 平方根</b></p> <p>○平方根とは何か理解する。                      ○平方根の計算法則を理解し、根号を含む乗法・除法ができる。                      ○根号を含む数の加法・減法の計算方法を理解し、解こうとする。                      ○根号を含む式の計算の仕方がわかり、平方根の計算ができる                      ○分母を有理化する意義がわかり、有理化の計算ができる。</p> <p><b>6. 1次方程式</b></p> <p>○等式の性質を理解し、移項がわかる。                      ○1次方程式を解く方法や、手順を理解し、一次方程式が解ける                      ○身の回りの具体的な事象を、1次方程式に表し解くことができる。                      ○連立方程式を解くことができる。</p> <p><b>7. 1次不等式</b></p> <p>○不等式の性質から、1次不等式を解く方法や、手順を理解し、解くことができる。                      ○不等式をみたす値の範囲を図示し、2次不等式を解くことができる。                      ○身の回りの事象を1次不等式に表すことができ、問題を解決できる。                      ○文章から不等式を立式できる。</p>

学習指導要領		練馬工業高校 学カスタンダード
(4) データの分析	<p>ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p> <p>イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>	<p><b>8. データの分析</b></p> <p>○与えられたデータを整理し、データの性質を理解することができる。</p> <p>○代表値や四分位数を求め、データの特徴を捉えることができる。</p> <p>○散布図からデータの相関関係を調べることができる。</p> <p>○共分散と相関関係のつながりを理解することができる。</p>